

MYUシードル商品開発プロジェクト

**「シードルの商品開発に関する
アンケート調査」 報告**

＜概要版＞

2019年12月24日

【宮城大学 大嶋研究室「地域連携型PBL」】

本調査の趣旨と御礼

宮城大学・事業構想学群の大嶋研究室では、東北復興支援・地域活性化を目的に、県内の秋保ワイナリー、結城果樹園、食産業学群「食の応援団」と連携し、シードル（リンゴのスパークリングワイン）の新商品開発を推進しています。これにより、リンゴ農家は高付加価値で出荷でき、ワイナリーは特徴ある商品を製造でき、大学は地域に貢献できます。さらに、この商品を核の一つとして、宮城・東北の「食・お酒・風土」を組み合わせたフードツーリズム / テロワージュの推進にも寄与できます。

※テロワージュについて <https://www.tohoku-bishu-shoku-tourism.jp/>

今回、2020年3月頃の新商品リリースを目指して、シードルに関する緊急アンケート調査を実施しました。趣旨にご賛同いただき、わずか1週間弱で約400名の方にご回答いただくことができました。深く御礼申し上げます。

今後、シードルのオリジナリティを高めるために、宮城大学生によるラベルコンペ、クラウドファンディングを予定しております。引き続き、応援を宜しくお願いします！ 🍏



今後の活動は ⇒ 【公式サイト: MYU Cider Project】

<https://oshimalab4cidre.wixsite.com/myu-cider>

アンケート集計結果

【調査概要】

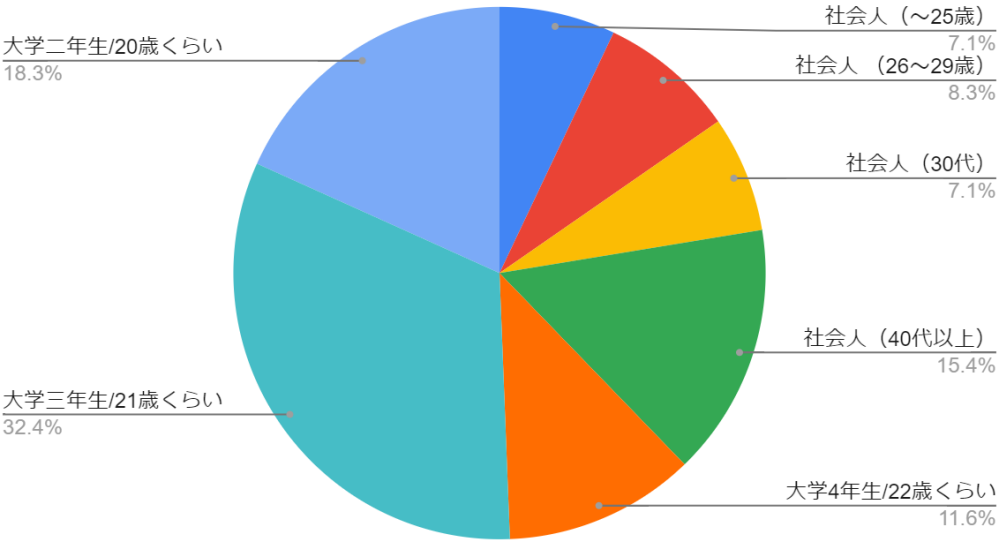
- ◆ アンケート名：「シードルの商品開発に関するアンケート調査」
- ◆ 調査期間： 2019年 11月24日～30日
- ◆ 有効回答数： 396件
- ◆ 調査方法： Webアンケート調査

※次頁から、主に女性を「20代前半」「20代後半」「30代以上」に分類して集計

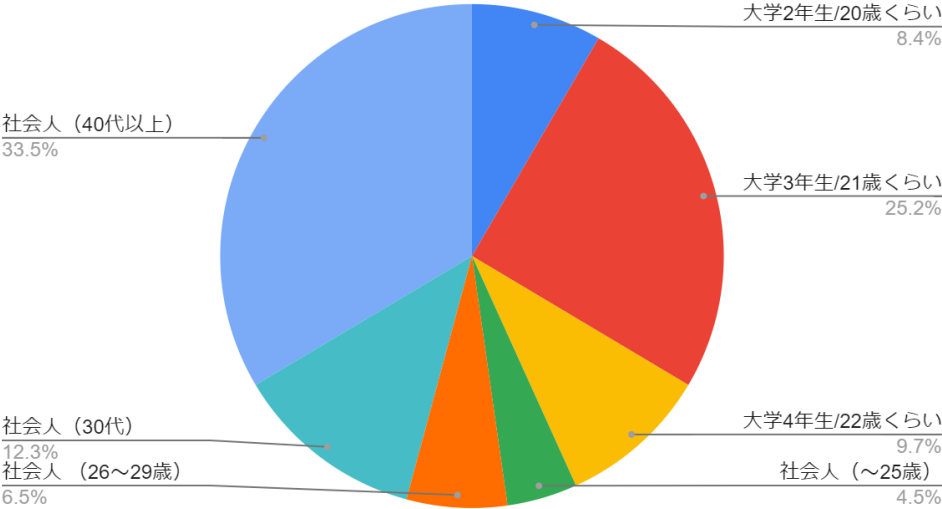
【回答者属性】

女性:20代が
8割近い

女性 (n=241)



男性 (n=155)

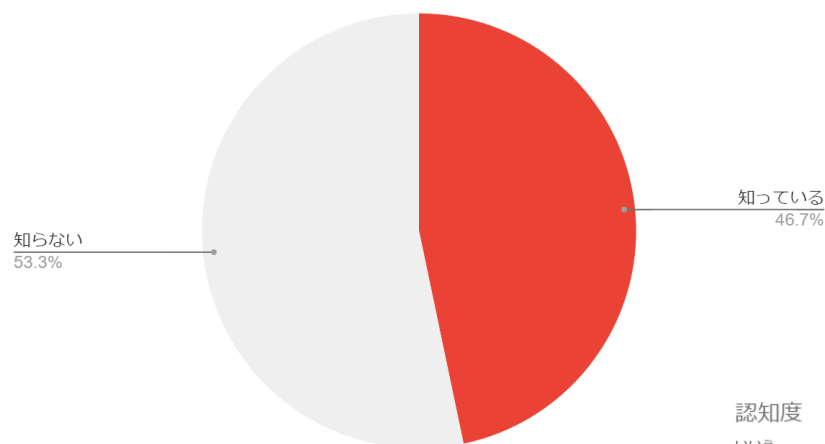


【シードルの認知度】

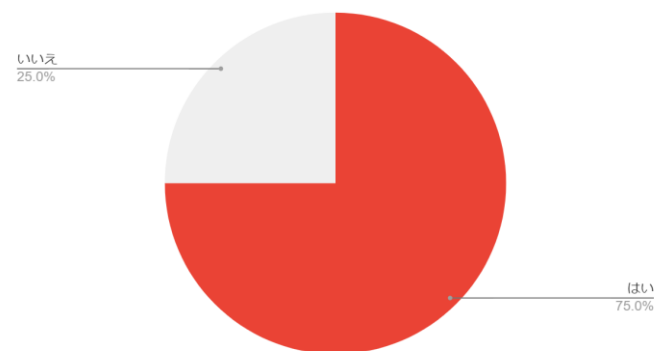
Q. あなたは「シードル」をご存じですか。

※シードル: リンゴのスパークリングワイン

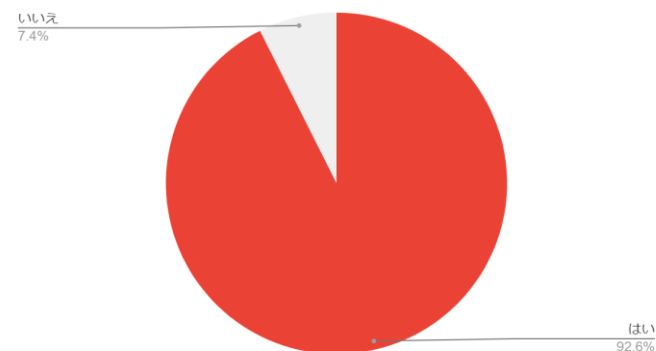
認知度 20代前半女性



認知度 20代後半女性



認知度 30代以上女性



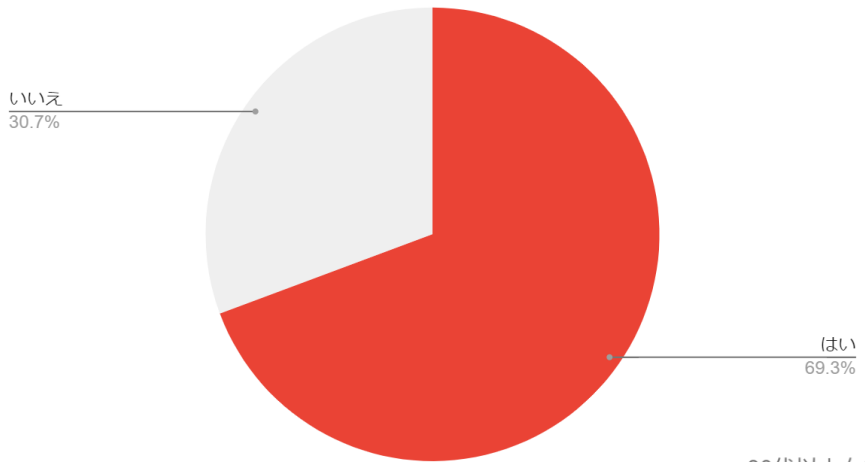
年代が上がるにつれて認知度は高くなる
20代前半でも半分近くは知っている

【シードルを飲んだ経験】

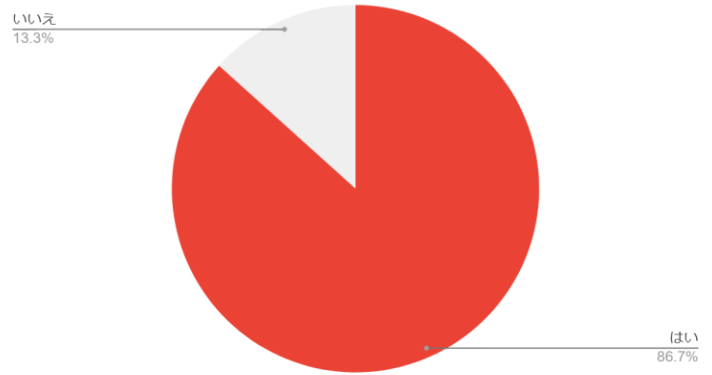
Q. シードルを飲まれたことはありますか。

注) 以下は前問で「シードルを知っている」と回答した人が対象

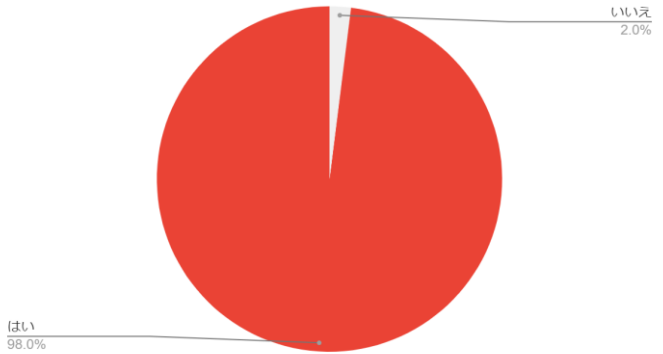
20代前半女性



20代後半女性



30代以上女性

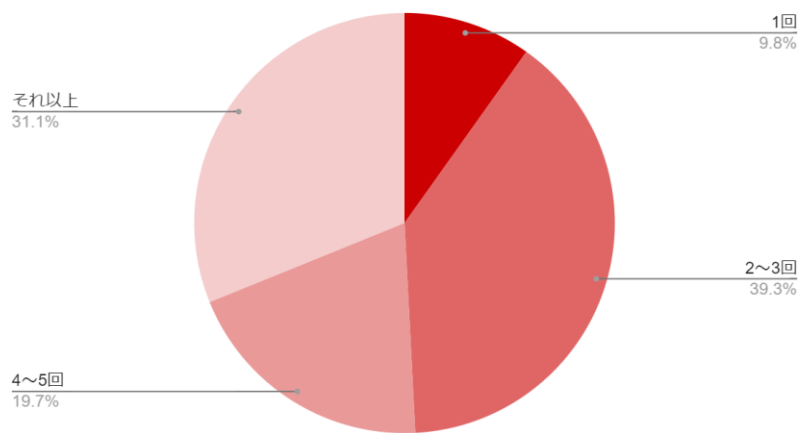


20代前半で「シードルを知っている人」の約7割は飲んだ経験あり！
30代以上は98%と、年齢によって差が大きい

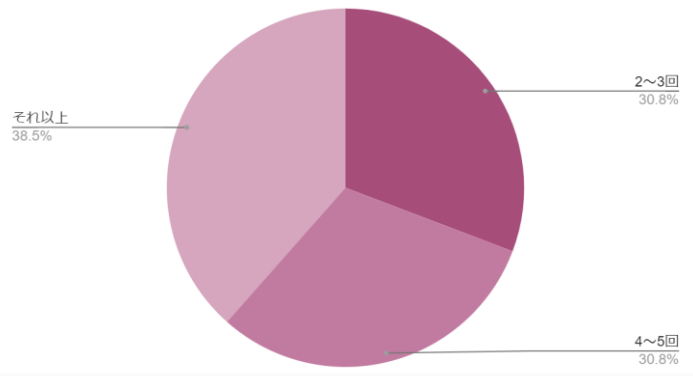
【シードルを飲んだ回数】

Q. シードルを飲んだことがある方にお聞きします。何回飲んだことがありますか。

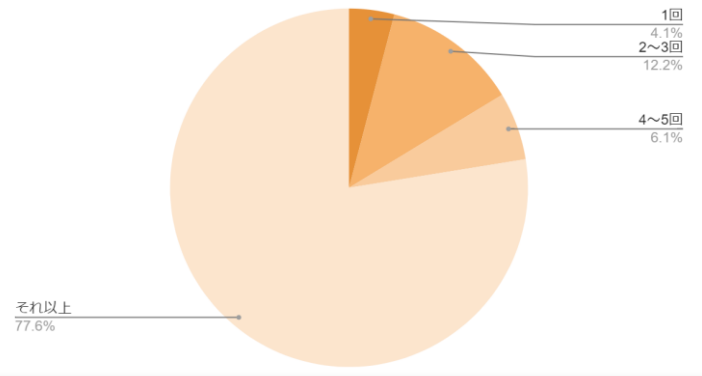
20代前半女性



20代後半女性



30代以上女性

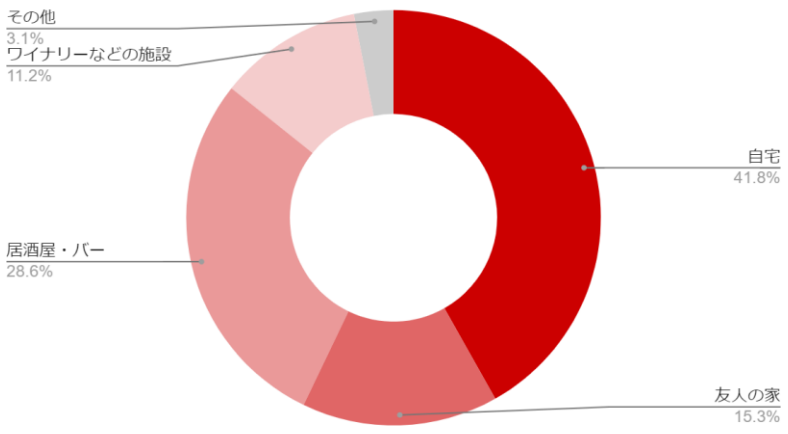


年代が上がるほど飲む回数が増えている
⇒リピーターが生まれやすい飲料!?

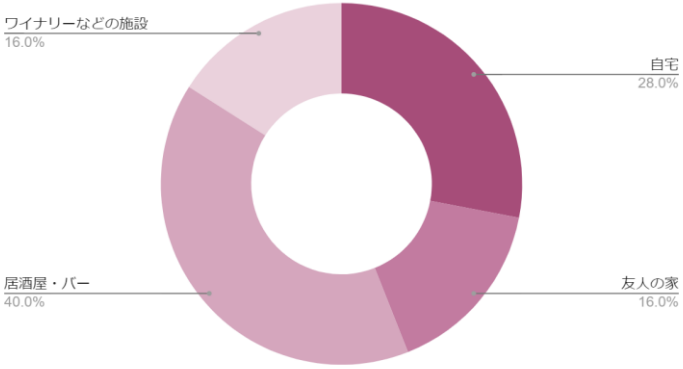
【シードルを飲んだ場所】

Q. シードルをどこで飲みましたか (MA)

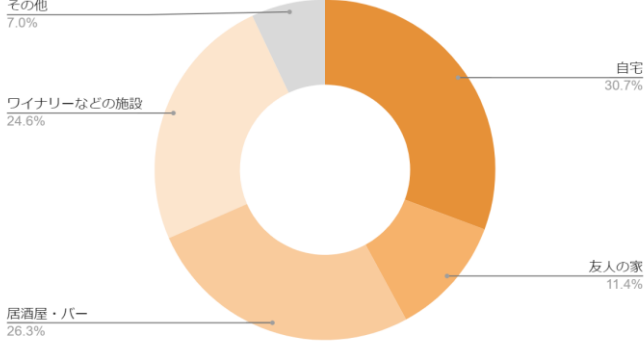
20代前半女性



20代後半女性



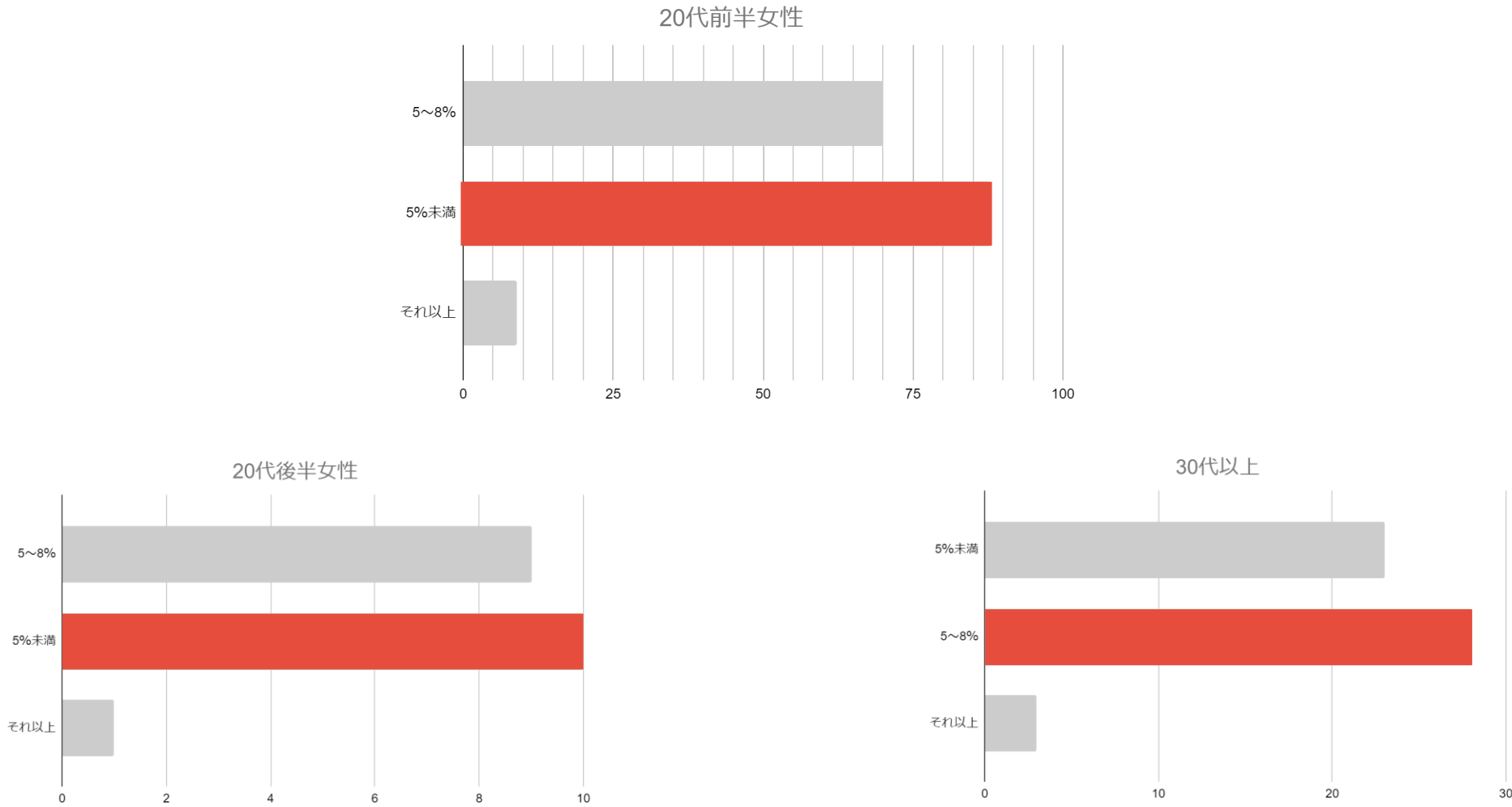
30代以上女性



自宅でのシードルの飲酒経験が多い
⇒ 自宅でのんびり飲むお酒!?

【望ましいアルコール度数】

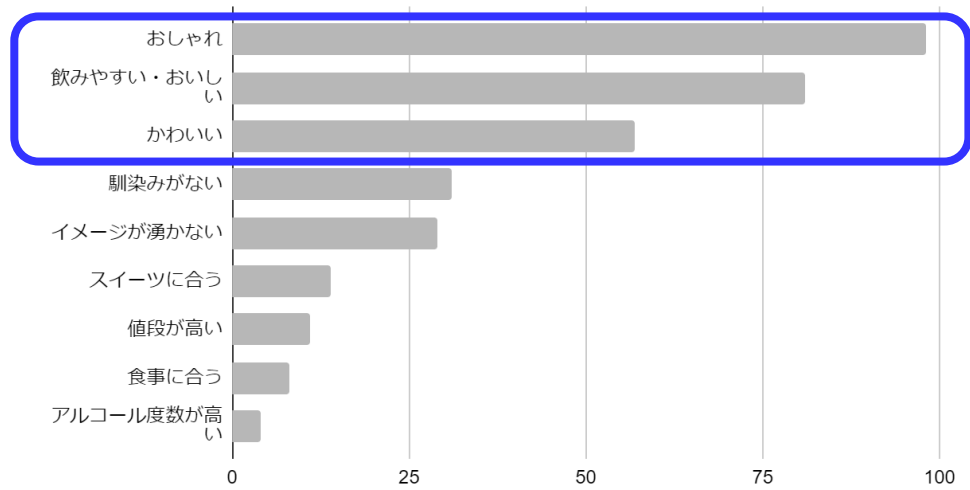
Q. シードルのアルコール度数はどれくらいが望ましいですか。



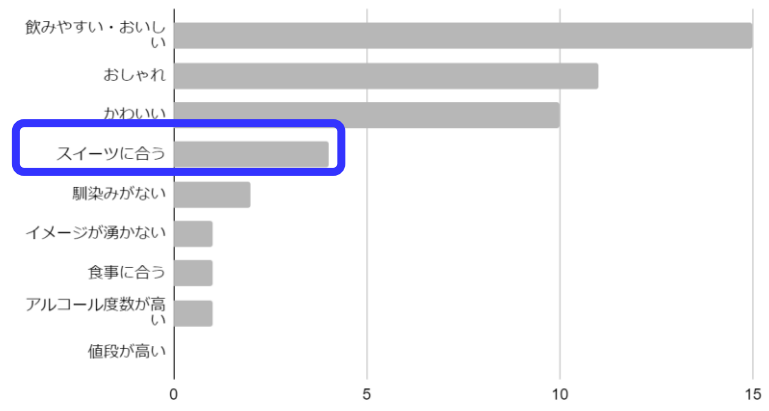
若い人ほど度数が低いものを好む傾向にある

【シードルのイメージ】 Q. シードルに対するイメージを教えてください

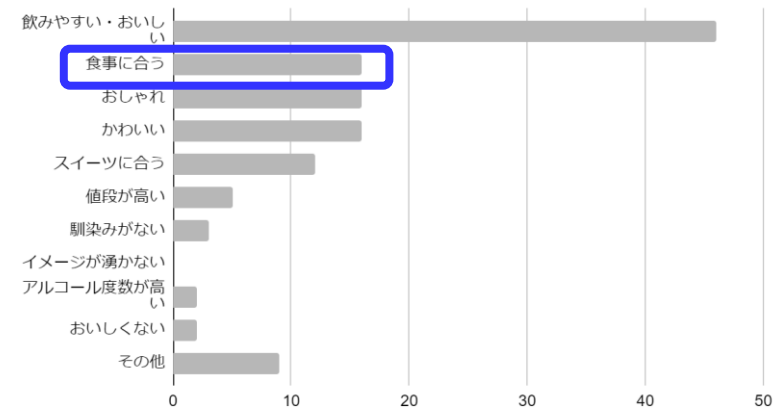
20代前半女性



20代後半女性



30代以上女性



20代前半は「おしゃれ」「飲みやすい」「かわいい」のイメージが多い
20代後半は「スイーツに合う」、30代以上は「食事に合う」

アンケート結果に基づく方針

【新商品コンセプトの提案】

“はじめてのシードル🍏”

年代別で見ると、若い女性ほどシードル認知度はこれから

⇒ **シードル未経験者の認知度向上を目指す!!**